

【屋外用塗料 注意事項】

- セトール HLSe
- セトール Filter7 プラス
- セトール TGL
- セトールノバテック
- セトールデッキ
- セトールデッキプラス
- セトール BL Xpro (水性タイプ) ※セトール BL Xpro 以外は油性タイプです。

施工上の注意

- 必ず乾燥した木材に塗ってください。含水率は18%以下が目安です。
- 雨天、露、霜が発生しているときは塗らないでください。素材の表面が濡れていると塗料の浸透性、塗膜形成を著しく妨げますので、しっかり乾燥させてから塗ってください。
- 直射日光が当たる場所で、木材表面が熱いとき（表面温度35℃以上）は塗らないでください。また、気温5℃以下の場合での塗装は避けてください。
- 使用するときには良く攪拌してから使用してください。容器のフタに手を添えて開け、塗料を底から十分かき混ぜて均等にしてください。
- 木材表面の汚れ、ゴミ、ホコリ、油分、カビ、古い塗膜などはしっかり取り除いてから塗ってください。
- 吸い込みの違いによる色ムラを防止するために、木材表面をサンダーがけ(#80~#180)して木材表面を均一にしてください。セトールHLSe 000 クリアーを下塗りすることで、多少吸い込みムラの防止に効果があります（下塗りクリアーはセトール BL Xpro の使用時は不可となります）。
- 樹種や表面状態により塗布量は大きく変動します。時間の経過した木材や、素材表面が荒れている場合は著しく塗布量が多くなる場合があります。
- クリアー色の耐候性は着色に比べて低下します。耐候性を優先される場合は着色仕上げをおすすめします。
- 原則希釈は不要ですが、粘度が高く塗りにくい場合は約5%まで塗料用シンナー（ペイントうすめ液）で希釈することができます。※セトール BL Xpro は水で希釈してください（5%以内）。
- 塗装前にマスキングテープなどでしっかり養生を行い、他の部分に塗料が付着しないようにしてください。万が一付着した場合は、塗料が乾く前にすみやかに拭き取ってください。
- 草花、動植物、食物が隣接する場所での塗装は避けてください。
- 屋外専用です。屋内には使用しないでください。
- 含みの良い、腰のある刷毛で塗装してください。スプレー塗装はできません。
- 刷毛ムラ、ダレが発生しないように均一に塗装してください。木目に沿って薄く伸ばしながら塗ることがポイントです。継ぎ目の部分などは塗り残しに注意してください。
- 木口、継ぎ目部分は塗料をよく吸い込みますので、ダレないようにたっぷりと塗ってください。
- 重ね塗りの際は必ずよく乾燥させてください。乾燥時間は気温、湿度、通風、木材の種類などにより大きく異なります。
- 必要以上に重ね塗りしないでください。また、一度に厚塗りしないでください。塗膜の通気性が妨げられ、本来の耐候性（性能）を発揮できない可能性があります。
- 仕上がりの色調は、木材自体の色調、塗り回数、塗料の吸い込み具合などによって異なります。塗装前に必ず試し塗りをしてください。
- 同じ製品で異なる色を混合することは可能です（例 セトールHLSe 006 ライトオーク と 020 アイビー を混合）。
- 異なる製品の混合（例 セトールノバテックとセトールデッキの混合など）はできません。
- 下塗り～上塗りの工程は概ね4週間以内で実施してください。
- 使用後の用具は塗料用シンナー（ペイントうすめ液）でよく洗ってください。
(※セトール BL Xpro の使用後の用具は水で洗浄してください。)

素材・条件による対応

<ヤニを多く含む木材>

塗装後、塗膜表面からヤニが吹き出すことがあります。ヤニが硬化した後にヘラ等で除去してください。また塗装前、素材表面にヤニが吹き出している場合は塗料用シンナー、ラッカーシンナーを含ませたウェスで完全にヤニを拭き取ってください。

<防腐処理済み木材(加圧注入材)>

必ずよく乾燥させてから塗装してください。防腐薬剤によっては塗装できない場合がありますので、事前にご確認ください(クレオソートなど)。また、防腐薬剤の色の影響により塗装後の仕上がり色が異なる場合がありますので、塗装前に試し塗りすることをおすすめします。

<木材に含まれる成分による乾燥遅延>

ハードウッド(南洋材)などは木材中に含まれる成分の影響で、乾燥が遅くなる場合があります。ケヤキは注意が必要です。イロコヤカリンなど抗酸化物質を含む木材の場合も乾燥が遅くなる場合があります。また、水溶性樹脂分を含む木材では滲みが発生する場合があります。

<未乾燥材>

下塗り1回をした後、4~5ヶ月放置して木材をしっかり乾燥させてください。木材の含水率が低下してから上塗り(1~2回を)します。

<ウッドデッキの塗装>

セトールHL Se、セトールデッキ/デッキプラス、またはセトールBL Xproの使用が可能です。セトールFilter7プラス、セトールノバテック、セトールTGLは比較的厚い塗膜を形成しますが、塗膜が柔軟で柔らかいためデッキの床面・ベンチなどには不向きです。

<他社塗料の上に塗る場合>

塗装前、旧塗膜をしっかり除去してから塗装してください。数年経過したオイルステイン系塗料の上から塗装が可能な場合もありますが、表面の顔料成分をしっかり取り除いたうえで、事前に試し塗りをして付着性や仕上がり感などの確認を行ってください。ウレタンなど塗膜がある場合は除去が必要です。

<新しい塗膜を除去する場合>

塗装後、やむなく除去する必要がある際には、サンドペーパー(#60~120)で入念に研磨するか、塗膜剥離剤を使用して取り除いてください。

安全衛生上の注意

<救急処置>

- 目に入った場合には直ちに水で洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けてください。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には多量の石けん水で洗い落とし、痛み又は外観に変化のあるときは医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、製品により石油系溶剤・防腐防カビ剤等を含有していることを告げて、出来るだけ早く医師の診断を受けてください。

<取扱注意事項(安全・環境面)>

- 火気のあるところでは塗らないでください。
- 溶剤蒸気を吸入しないよう、目に入らないよう、皮膚に触れないよう、保護マスク、保護メガネ、保護手袋や作業着などを着用し、注意して取り扱ってください。

- 有機溶剤が含まれているので、塗装中・乾燥中とも十分に換気してください。
- 次の人は取り扱いわないでください。
 - ・本人又は血族の方が、ジンマシン、かぶれ、気管支喘息、へん頭痛、アレルギーなどをおこしやすい体質の方
 - ・体の調子が悪い方、睡眠不足、二日酔い、高熱のある方、妊娠されている方
- 犬小屋や鳥カゴ、その他ペットなどがなめたり、かじったりするような木部には使用しないでください。
- 食品や食器が置かれるところには使用しないでください。
- 塗料が木部以外にかかった場合には、中性洗剤で洗った後、十分水洗いしてください。
- 塗料が草木などの植物にかからないよう、また金魚や鯉などの魚類がいる池などに入らないように注意してください。
- 取扱後は必ず手洗い、うがいを十分に行ってください。
- 乾燥後も衣服や洗濯物がすれたりすると汚れることがありますので、乾いた布でよくふいてから、使用してください。
- 塗料が付着した作業着はそのまましまわずに、洗濯してからしまってください。
- 容器は塗料を使い切ってから捨ててください。
- やむを得ず塗料を捨てる時は、新聞紙などに塗り広げ、完全に乾かしてから一般ゴミとして処分してください。ただし、完全に乾くまでは重ね合わさないでください。

<保管>

- キャップの中のボール紙は捨てないようにそのまま入れた状態で、キャップを缶の口にはめ込んで、しっかり密閉して下さい。缶のフタはしっかり閉めてください。
- 残量が少ない時は小缶に移し替えて保管してください。
- 幼児の手の届かない場所で、直射日光の当たらない冷暗所で保管してください。
- 保管時の温度は5℃～30℃が適温です。気温が低い時は塗料の粘度が上がる場合があります。また、セトールHL Se、セトールBL Xproは成分中に水分を多く含むので低温下（-5℃以下）での凍結にご注意ください。
- 缶の中で表面に膜が張ったとき（皮張り）は、その膜を除去して使用してください。塗料が固まってしまった場合は使用できません。
- 火気厳禁（油性タイプは 第四類 第二石油類 危険等級 III）
- 一度開封した塗料は長期の保存を避け、できるだけ早く使い切ってください。

メンテナンス

再塗装の時期としましては約2～3年程度が目安となりますが、塗膜の傷み具合や劣化の進行は、立地条件、方角、木材の種類、建築物の構造、塗装回数、使用頻度などにより多様です。早期に定期的なメンテナンスを実施することで、素材の劣化を最小限に抑え美しい状態を保つことができます。